

キャンパス・セクハラ対策 実態調査・運用点検、裁判事例

2002年11月1日(金)

時間	講義項目
13:00 ~ 14:50	<p>キャンパス・セクシュアル・ハラスメントへの大学の取り組みの現状と課題 ～大学の防止策・本来の目的を問い直す～ お茶の水女子大学 戒能 民江</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セカンド・ステージに入った大学の対応 <ol style="list-style-type: none"> (1) 増える処分 (2) 最近の特徴 (3) 問題点の顕在化 2. 大学のセクシュアル・ハラスメント事件の特徴 <ol style="list-style-type: none"> (1) 加害者と被害者 大学の構造的特質 (2) 使用者責任の自覚 (3) 学習・研究環境の侵害と回復 3. 被害の実態と影響 <ol style="list-style-type: none"> (1) 実態把握の現状 (2) セクシュアル・ハラスメント被害を問いなおす (3) 二次被害・二次加害と生活全般にわたる影響 4. 大学の取り組みの現状と課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 全国大学アンケート調査中間報告から (2) 取り組みの現状 (3) 取り組みの課題と大学特有の問題 5. 今後の課題 全国ネット「提言」の具体化へ向けて <p style="text-align: right;">質疑応答</p>

コーヒーブレイク

15:00 ~ 17:00	<p>裁判例にみる争点と立証・認定の実際 ～裁判ではどのようなことが問題になるか～ 弁護士 井口 博</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 被害申立から裁判にいたるプロセス 2. 裁判の種類 <ol style="list-style-type: none"> (1) 被害申立人から相手方 (2) 相手方から被害申立人 (3) 被害申立人から大学 (4) 相手方から大学 (5) その他 3. これまでの裁判例から <ol style="list-style-type: none"> (1) 争点 (2) 立証の実際 (3) 認定における問題点 4. 裁判に「備える」ために <ol style="list-style-type: none"> (1) 被害申立人として (2) 大学として <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
---------------------	--